

授業科目名	リハビリテーション看護 (臨床看護概論)	担当者	國本 貴弘 中板 聖騎
単位	—		
時間数	9時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	後期
授業の到達目標	障害による心身機能の低下を改善し、生活上の問題を解決することで、社会の中で生活できるよう支援する方法を学ぶ。		
授業の概要	健康障害を抱えながら生活する人が増加している。それらの人々の生活の質を高めるためリハビリテーションの役割や援助する方法を理解する。		
授業計画	<p>第1章 リハビリテーションにおける看護</p> <p>A. リハビリテーションと看護</p> <p>B. チームアプローチによるリハビリテーション</p> <p>第2章 リハビリテーションの実際</p> <p>A. リハビリテーションの流れ</p> <p>B. リハビリテーションの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法目的 ・作業療法目的 ・言語聴覚療法目的 <p>第3章 患者・家族の主体性を引き出す看護</p> <p>A. ADL機能向上のための援助 2コマ:演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移乗・移動動作 ・日常生活でのリハビリテーション ・介助のポイントや補助具の選択 <p>B. 患者・家族への教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者・家族の調整と継続看護 		
テキスト	新看護学10 成人看護{2}医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験 リハビリテーション(50点)、放射線診療と看護(50点)		